令和6年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		7 東京都台東区立うえの高齢者在宅サービスセンター	部課名	福祉部高齢福祉課	
選定方法		☐ 公募 ☐ 継続特例 ☒ 非公募	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
			指定期間	R3.4.1	～ R8.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 東京都台東区東上野2-25-14 [規模] 床面積 (㎡) 延2,130.8の内330.78 RC造地上5階のうち3階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護 (送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、②介護予防通所介護 (送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等) (定員30名) [自主事業] なし
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] ☒ 有 ☐ 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日 (1月1日・2日を除く) 8時30分から17時15分
(6)	[人員体制] 8名 (内 訳) 生活相談員1名、看護師2名、介護士5名 ※施設長 (兼務)、栄養士 (兼務)、療法士3名は人員体制に含めない (前年増減) 増減なし

2. 予算決算		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
収入	委託料 (指定管理料)	12,050,000	12,050,000	12,750,000	12,750,000
	利用料金収入	60,572,000	44,567,716	60,643,000	39,331,471
	その他収入 (拠点区分間繰入金収入等)	312,000	2,219,154	312,000	5,003,853
	計	72,934,000	58,836,870	73,705,000	57,085,324
支出	人件費	46,139,000	39,129,365	48,571,000	35,833,909
	光熱水費	2,382,000	2,840,516	2,399,000	1,780,511
	維持管理費 (委託料・賃借料)	14,733,000	14,103,561	13,092,000	13,885,162
	修繕費	150,000	343,717	100,000	96,800
	事業費	0	0	0	0
	その他支出 (給食費支出等)	9,530,000	7,644,273	9,543,000	7,672,255
	計	72,934,000	64,061,432	73,705,000	59,268,637
収支			-5,224,562		-2,183,313

3. 活動指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
開館日数	日	311	312	310	311
定員	人	30	30	30	30

4. 成果指標	単位	(目標値)R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用率	%	70.0	67.0	55.2	48.3
利用者数	人	6,000	6,270	5,132	4,511

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
前回の第三者評価の課題として、リモート見学の推進やBCP研修の機会確保が挙げられていた。これを踏まえ、リモート見学可能な体制を整え、BCPの事業所研修を実施するなど、改善の取り組みを着実に進めている。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	各種法令の遵守、計画書等の提出は適切になされている。また、必要に応じて区へ報告・相談等を適宜実施しており、適切なサービス運営に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
17 / 20 点	施設利用者のADL低下によりデイサービスからショートステイの利用に切り替える方が多く、利用率は低下しており、R5年度末の利用率は40%台まで落ち込んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物・設備の維持管理については必要に応じて専門業者に委託し、概ね問題なく実施されている。また、設備や備品等に不具合が生じた際には適宜区へ報告を行い、施設の適切な管理運営に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者及びその家族に対する満足度調査を実施しており、概ね良好との評価をいただいている。感染拡大防止を目的として施設において実施している代替事業も好評であり、利用者満足度の向上に繋がっている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	前年度に比して利用者数が低下していることが主な要因となり、介護報酬収入が大きく減収している。支出については前年度より少なくなっているものの、前年度より収支赤字となっている。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
適正 (90 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>施設の管理運営、サービス提供体制等については問題は見られず、新型コロナによる休止期間などもなかった。しかし、施設利用者数は近年低下傾向にあり、それに起因して利用料収入も減収傾向にある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>利用者数の減少が主な要因となり事業運営及び収入支出に関する項目が低くなっている。施設では一日の入浴利用可能者数を増やしたり、利用者の送迎範囲を広げるなどの取組を実施しており、今後の利用者数の増加が期待される。</p>